

令和6年度事業のあらまし

～福島県地球温暖化防止活動推進員(デコ活推進員)のみなさまと、楽しく一步一步～

会場:福島県環境創造センター交流棟コミュニティ福島
日付:2024年4月26日(金)



福島県地球温暖化防止活動推進センター
(NPO法人うつくしまNPOネットワーク)

福島県地球温暖化防止活動推進センター
事務局長 鈴木和隆



福島県地球温暖化防止活動推進センター
(NPO法人うつくしまNPOネットワーク)

本日のお話

- 前半:主に、県からの委託事業
 - ・推進員事業説明会の開催
 - ・COOLサポーター養成研修会の開催
 - ・スキルアップ勉強会の開催
 - ・推進員養成研修会の開催
 - ・推進員マッチング事業の実施
 - ・事業者及び県民向け専門家派遣の相談窓口の開設
- 後半:主に、福島県センターとしての独自事業
 - ・推進員(デコ活推進員)のデジタルパスポートの作成(未確定)
 - ・うちエコ診断士養成研修会・省エネ診断士養成研修会
 - ・サーキュラーエコノミーに関するセミナー
 - ・7つの方部別交流会(仮称)の開催(未確定)
 - ・事業者及び県民向け専門家派遣の相談窓口の開設(再掲)

令和6年度福島県地球温暖化防止活動推進員事業説明会



福島県地球温暖化防止活動推進センター
(NPO法人うつくしまNPOネットワーク)

前半：県からの委託事業

スキルアップ勉強会の開催

- ・オンラインで、5回の開催を予定。1回90分(講義60分+質疑30分)
- ・勉強会を録画した動画を、YouTubeに掲載予定
- ・講義予定(①②③推進員マッチング事業に役立つ模擬的な講義、
④全国地球温暖化防止活動推進センター(JCCCA)の情報提供サイトの活用方法、
⑤講師をする場合の講義資料の作成方法などを予定)
- ・学びを深めるために、受講者には、メールなどで関連する情報や資料の提供

推進員養成研修会の開催

- ・浜通り(11月8日)・中通り(12月)・会津(10月4日)で開催
時間帯は、13時30分から16時30分までを予定。
- ・3部構成(1部:基調講演、2部:推進員制度の紹介と推進員活動の事例発表、
3部:意見交換、名刺交換など)
- ・参加者には、委嘱申請に関するサポートを実施
- ・59市町村の中で、まだ推進員が一人もない町村からの養成研修会への参加を強く働き掛ける予定

令和6年度福島県地球温暖化防止活動推進員事業説明会



福島県地球温暖化防止活動推進センター
(NPO法人うつくしまNPOネットワーク)

前半：県からの委託事業

推進員マッチング事業

- ・(事業の概要) 企業、学校、諸団体、行政などが「気候変動と地球温暖化防止活動」というテーマで、勉強会やセミナーを開催する場合、推進員を講師として派遣する事業
- ・1回45分から90分程度。時間数については、柔軟に対応する予定。
パワーポイントで講義資料を作成し、参加対象者の希望に即し分かりやすく講義する。
- ・(流れ) 主催団体は福島県センターへ講師派遣を依頼する。
依頼内容を吟味し、推進員の中から講師候補者を選ぶ。
- ・旅費を福島県センターから支給する。

事業者及び県民向けカーボンニュートラル専門家派遣の相談窓口の開設

- ・福島県センター内に窓口を開設し、相談員を常駐させる。月から金まで、9時から18時。
- ・事業者及び県民からの相談を受け付ける。
- ・(事業者) 主に、脱炭素経営に資するために「省エネ診断」の受診を推奨する。
- ・(県 民) 主に、家庭の省エネを促進するために「うちエコ診断」の受診を推奨する。
- ・福島県2050年カーボンニュートラルロードマップ(2022年5月13日策定)の説明と実践を促す。

令和6年度福島県地球温暖化防止活動推進員事業説明会



福島県地球温暖化防止活動推進センター
(NPO法人うつくしまNPOネットワーク)

後半：福島県センターとしての独自事業

推進員（デコ活推進員）のデジタルパスポートの作成（未確定）

- ・（事業の概要）福島県センターのホームページに、推進員（デコ活推進員）一人ひとりのページを開設し、推進員が自ら適宜情報を追記・更新できるようにする。
- ・（背景）企業や行政、時には推進員から、どのような推進員がいて、どのような活動をしているのかが分からないという意見・質問を受け、可能な範囲で、推進員の情報を公開する必要があると考えた。
- ・（方法）デジタルパスポートを希望する推進員へログイン用のIDとPWを提供し、推進員が自主的に情報公開を行う。

うちエコ診断士養成研修会・省エネ診断士養成研修会

- ・推進員（デコ活推進員）のスキルアップ、ライセンス（資格）取得を応援するために、うちエコ診断士養成研修会・省エネ診断士養成研修会を開催する。
- ・うちエコ診断士養成研修会を令和5年度開催し、新しく6名の推進員がうちエコ診断士になった。4月1日付で、福島県内エコ診断士協会（8名）を設立した。
- ・エネルギー管理士の推進員を講師にして、省エネ診断ができる推進員を増やすことで、事業者の脱炭素経営を支援する体制を充実させ事業者の脱炭素経営を支援する体制を充実させる。一般財団法人省エネルギーセンター（ECCJ）の学習メニューも活用する。

令和6年度福島県地球温暖化防止活動推進員事業説明会



福島県地球温暖化防止活動推進センター
(NPO法人うつくしまNPOネットワーク)

後半：福島県センターとしての独自事業

サーキュラーエコノミーに関するセミナー

- ・(背景)国の「成長志向型の資源自律経済戦略」(2023年3月31日策定)を受け、全国各地で、サーキュラーエコノミーの取り組みが始まった。
- ・(狙い)福島県は残念ながら、ごみ排出量が全国で最も多い。福島県1021g、全国平均は880g。このセミナーを通して、ごみ削減の行動変容のきっかけを作りたい。
- ・(セミナーの概要)
数回開催する。
セミナー参加者の有志により、このことの先進都市である蒲郡市の取り組みを視察する。(未確定)
- ・(留意事項)このことについての専門家である福島大学の沼田大輔教授の指導を仰ぐ予定である。

7つの地域別交流会(仮称)の開催(未確定)

- ・推進員(デコ活推進員)との意見交換、前年度の推進員養成研修会第3部での意見交換などにおいて、地域において推進員同士の交流の場があると良いという意見があった。
このことを受け、7つの地域ごとに交流会(仮称)の開催を企画してみたい。(開催は未確定)
- ・(いくつかの意見)
①土日開催してほしい。②夕刻に開催し、その後、飲み会などをしてほしい。③推進員だけではなく、市町村とか振興局の人も参加してほしい。地域での活動がしやすくなる。④参加費はかかるのか。など)

令和6年度福島県地球温暖化防止活動推進員事業説明会



福島県地球温暖化防止活動推進センター
(NPO法人うつくしまNPOネットワーク)

まとめ～(デコ活推進員)のみなさまと、楽しく一步一步～

エンゲージメント(対話と、働きかけ)

福島県センターのステークホルダーは、県民、事業者、推進員(デコ活推進員)、59市町村、そして福島県、東北地方環境事務所、一般社団法人地球温暖化防止全国ネット(JNCCA)などである。これらのステークホルダーとのエンゲージメントを大切にする。

活動のデジタル化

- ・福島県地球温暖化防止活動推進センターのホームページの充実
(<http://fukushima-ondankaboushi.org/>)
- ・福島県センターからの情報発信のデジタル化
- ・推進員(デコ活推進員)と福島県センターのオンライン交流会(仮称)の企画開催(年数回を想定)

令和6年度福島県地球温暖化防止活動推進員事業説明会